



平成24年2月1日

第26回消防団員意見発表会及び講演会の開催について

本事業は、昭和61年から開催されており、東京都消防操法大会と並び大きな消防団行事です。

意見発表会は、本年で26回目を数え、都内98消防団、約24,500人の消防団員から各地区の代表12名が、日頃の消防団活動から得た貴重な体験や意見・提言を発表します。

講演会には外部講師を招き、講師の講演を聴講することで、消防団員の知識の向上と士気高揚を図るとともに都内消防団相互の交流を図ることを目的に実施しています。

記

1 開催日時

平成24年2月5日（日） 13時30分～17時15分

2 開催場所

東京消防庁 消防学校5階講堂（渋谷区西原二丁目51番1号）

3 主催

社団法人 東京都消防協会

4 共催

東京消防庁

5 参加者等

(1) 意見発表者 12名（発表時間各5分間）

発表者は別添えのとおり

(2) 聴衆 約800名

ア 発表所属消防団員及び家族等

イ 98消防団の消防団長等幹部及び団員

ウ 一般都民

エ その他消防職員等

6 発表の審査等

社団法人東京都消防協会役員及び参与により、論旨・発表力・発表態度等について審査を行い表彰します。

7 タイムスケジュール

時 間	内 容
12時30分	開 場【消防学校5階講堂】
13時30分	開 会 主催者挨拶 社団法人東京都消防協会会長 木村 勉 参与挨拶 東京消防庁防災部長 伊藤 克巳 審査員紹介
13時40分	意見発表 12名 (発表時間各5分間)
15時00分	休 憩
15時15分	講 演 会 消防応援団員 ガッツ石松 氏 演題「ガッツ石松サクセスストーリー (わが人生)」
16時15分	休 憩
16時30分	講評及び成績発表 表 彰 式 最優秀賞1、優秀賞3、特別優良賞8 記 念 撮 影 (意見発表者・審査員全員)
17時15分	閉 会

8 その他

- (1) 会場では、席の指定は特にありません。
- (2) 発表内容を文集として作成し、当日会場にて配布する予定です。

問合せ先

(社)東京都消防協会
事務局長 齋 藤
電 話 3212-4020

平成24年2月1日

消防団上級幹部研修における講演について

東京都内全98消防団の正副団長504名に対し、昨年3月11日に発生した東日本大震災で、岩手県大船渡市の被害軽減等のため、同市消防団1,050名を陣頭指揮した消防団長を講師に迎え、有事の際の心構え等の教育をうけます。

記

- 開催日時
平成24年2月5日（日） 9時45分～10時20分
- 開催場所
東京消防庁 消防学校5階講堂（渋谷区西原二丁目51番1号）
- 講師
岩手県大船渡市消防団 団長 今野武義（このたけよし）氏
- 演題
「東日本大震災での消防団活動」
- 主催
東京消防庁消防学校
- その他
報道関係者席は、別紙のとおりです。

問合せ先

消防学校 3466-1049
校務課教務係 馬場 村田

意見発表者一覧

支 部	消防団名	氏 名	発 表 テ ー マ
第一方面支部	麻布消防団	いけだ こうじ 池田 幸司	「きずな」を超えて
第二方面支部	蒲田消防団	すずき みきこ 鈴木 美姫子	「私にもできること」
第三方面支部	目黒消防団	おかだ ゆかこ 岡田 有加子	「身近な消防団の普及」
第四方面支部	野方消防団	たけだ ももこ 武田 桃子	「斜めの絆」
第五方面支部	赤羽消防団	おおた なほこ 太田 奈保子	「新米ママ団員、 肝っ玉防災リーダーを目指す」
第十方面支部	石神井消防団	さわむら しんや 澤村 真也	「これからの地域防災のあり方とは」
第六方面支部	荒川消防団	いけだ たかお 池田 貴生	「首都消防団員としての使命」
第七方面支部	葛西消防団	もりた すみこ 盛田 壽美子	「小さなことから」
北多摩支部	武蔵野市消防団	ほさか はじめ 保坂 一	ALL FOR ONE ONE FOR ALL 「一人はみんなのために、 みんなは一人のために」
南多摩支部	八王子市消防団	ひらが てつや 平賀 哲也	「一本の指揮棒」
西多摩支部	あきる野市消防団	きのの えいじ 岸野 瑛治	「繋げたいこの気持ち」
島しょ支部	三宅村消防団	むらかみ やすし 村上 康	「自然災害と消防団活動の安全管理」

消防団上級幹部研修に伴う消防学校5階講堂配置図

